

ライムギ 極早生 春一番 優良品種

ライムギはイタリアンライグラスや他の麦類よりも早春の生育が早いですが、その中でも春一番は特に生育が早い。

春一番の特性



ハヤミドリ ベトクーザ4N 春一番

春一番の上手な利用法

青刈り

出穂前に刈れば再生が良好です。年内1回刈り、翌春2～3回の刈り取りができます。低刈りしないことがポイントです。

サイレージ

出穂期～糊熟期に収穫します。

出穂期では水分が多過ぎ、半日～1日乾かしてサイロ詰めを行なう。

ハーベスターで初め20cmの高刈りで刈りたおし、予乾後、低刈りしながらトレーラーに積み込み、サイロ詰めするのが便利です。

風よけ、シキワラ、緑肥



- ① 早春の萌芽が早く、出穂期はライムギ在来種等と比較し約10日早い。
- ② 草丈は在来種とほぼ同程度（130～140cm）であるが、分けつはやや少なく強稈で倒伏に強い。
- ③ 生草収量・風乾物収量ともに在来種等を上廻り、出穂前に刈れば再生も極良。
- ④ 初期生育良好で耐寒性も強く、園芸地帯での風よけ →シキワラ（すき込み緑肥）利用にも好適。



早春播きマルチ栽培や、苗立てトンネル栽培の場合、寒風を防ぐことで更に生育が促進されます。露地栽培では尚更です。

特にスイカ・メロン栽培では防風効果にとどまらず出穂後の刈り取りで、良質なシキワラ活用ができ、更に収穫後のすき込みで緑肥効果も得られます。

極早生で草丈高く、耐倒伏性の春一番は園芸地帯でも好評です。